

かわさき 図書館だより



図書館ホームページ：<http://www.library.city.kawasaki.jp/>

ご利用いただけます！ 大学や近隣自治体の図書館

川崎市立図書館では、周辺自治体や大学の図書館と相互利用の協定を結んでいます。これらの図書館では、館内での資料閲覧や資料の貸出しができるほか、館によっては取り寄せなどのサービスも利用できます。

※貸出し期間や冊数、利用できるサービス範囲、登録の際に必要なもの、等は館によって異なりますので、ご利用になる際は事前に利用したい図書館にお問合わせいただくか、ホームページなどをご確認ください。
※利用時間や休日、休館期間につきましても、利用したい館のスケジュールをご確認ください。



近隣自治体の図書館

*住所・電話番号は中央館（中心館）のものを記載してあります。

連携先図書館名	利用できるサービス	利用できる方の条件	住 所	電 話
稲城市立図書館	稲城市立図書館に利用登録をし、閲覧、貸出し、予約（リクエストを除く）、複写等のサービスを受けることができます。	川崎市在住の方	東京都稲城市向陽台4丁目6-18城山公園内 http://www.library.inagi.tokyo.jp	042-378-7111
狛江市立図書館	狛江市立図書館に利用登録をし、閲覧、貸出し、予約（リクエストを除く）、複写等のサービスを受けることができます。	川崎市在住の方	東京都狛江市和泉本町1-1-5 http://www.library.komae.tokyo.jp http://mb.library.komae.tokyo.jp/ （モバイル版）	03-3488-4414
町田市立図書館	町田市立図書館で利用登録をし、貸出しを受けることができます。（予約・リクエストはできません）	川崎市在住の方	東京都町田市原町田3-2-9 http://www.city.machida.tokyo.jp/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul08library/library.html	042-728-8220

※（稲城市立中央図書館は、平成24年6月1日から駐車場が有料となりますのでご注意ください）



大学図書館

*夏休みや入学試験期間などに、休館や利用時間の変更、一部サービスが利用できない場合がありますのでご注意ください。
*駐車スペースがありませんので自家用車での来館はご遠慮下さい。

連携先大学名	利用できるサービス	利用できる方の条件	住 所	電 話
専修大学	専修大学図書館（本館及び生田分館）を利用し、貸出しを受けることができます。	多摩区在住または在勤の満18歳以上の方で、川崎市立図書館の貸出カードをお持ちの方	神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1 http://www.senshu-u.ac.jp/libif/index.html	044-911-1276 （利用サービス係）
明治大学	明治大学生田図書館を利用し、貸出しを受けることができます。*貸出しには「ライブラリーカード」の作成が必要となります（登録料：年間1000円）	川崎市在住又は在勤の満20歳以上の方で、川崎市立図書館の貸出カードをお持ちの方（ただし、大学生、受験生、専門学校生、営利を目的とした方の利用はできません）	神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1 http://www.lib.meiji.ac.jp/users/community/kawasaki.html	044-934-7946
和光大学	和光大学附属梅根記念図書・情報館に無料で利用登録し、貸出しを受けることができます。また、大学図書館の所蔵資料を川崎市立図書館に取り寄せて利用することができます。	高校生以上の方で、川崎市立図書館の貸出カードをお持ちの方。（蔵書の取り寄せは、川崎市立図書館利用者のうち、川崎市に在住、在勤、在学されている方）	東京都町田市金井町2160 http://www.wako.ac.jp/library/use_guide/registration/public.html	044-989-7494

かわさき車窓物語

このコーナーでは、3号に1回のペースで「川崎市内の乗り物・交通機関」をキーワードに様々な話題を取り上げてご紹介していく予定です。第1回は、小田急線の向ヶ丘遊園駅を取り上げました。

第1回 “未来につながる玄関口～向ヶ丘遊園駅”

“♪ドラえもののうた”の発車メロディに背を押されながら*1、ホームの階段を上がります。親子連れは、南口へ。行先は22世紀の未来か無限に広がる宇宙でしょうか。

学生たちと一緒に北口に出てみましょう…*2

北口には牧場の建物のようなギャンブルル屋根が印象的な昭和2年（1927）小田急創業当時の木造駅舎*3が、今も現役で頑張っています。以前はバスのターンテーブルなどがあって昭和の駅前の風景が残っていました。

さて、先ほどの南口。もともとは、10年前に閉園した向ヶ丘遊園地の玄関口で世界でも珍しい鉄製車輪のモノレールで結ばれていました。初夏と秋ににぎわうバラ園は在りし日の遊園地の面影があります。

現在は、昨年オープンした『藤子・F・不二雄ミュージアム』や4月にオープンした『かわさき宙と緑の科学館』*4、同じ生田緑地の日本民家園や岡本太郎美術館という個性派揃いの施設の玄関口となっています。

そうそう、遠い未来のお話（ウルトラセブン第8話『狙われた街』）で、この駅前に宇宙人が地球侵略のため煙草の自動販売機を置いたこともありました。作品の中に昭和40年代の駅前の様子が映っています。*5未来を描いた映像作品に過去の風景が記録される…面白いですね。



向ヶ丘遊園駅北口

*1 向ヶ丘遊園駅の発車メロディは“♪ドラえもののうた”（上りホーム）、“♪はじめてのチュウ”（下りホーム）を使用しています。

*2 多摩区は専修大、日本女子大、明治大がある学生の街です。

*3 創業当時は駅名が“稲田登戸”。昭和30年より現在の駅名になりました。

*4 リニューアル前は『川崎市青少年科学館』。

*5 この作品を監督した映画監督・作家の実相寺昭雄氏（1937～2006）は長く麻生区に住み、没後の残した資料は2008年川崎市市民ミュージアムに寄贈されています。

著書『ウルトラマンの東京』の中で「昔の劇映画は、それ自体が風景のドキュメント」と記しています。

第19回

We Love!
KAWASAKI

（このコーナーでは、川崎をもっとよく知り、もっと楽しむための本を紹介しています。）

今回は、「かわさき車窓物語」のテーマに合わせて「向ヶ丘遊園地」と「向ヶ丘遊園駅」に関する本を集めました。

A：『小田急の駅今昔・昭和の面影—昭和とともに生きた72駅紹介—』

生方良雄／著 JTBパブリッシング 2009.6

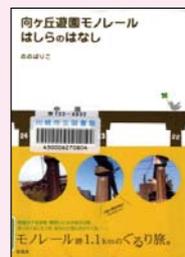
小田急線全72駅を、駅ごとに昔の写真と出版当時の写真を並べて一冊にした本。沿線の変化とともに駅も変化した様子がわかります。駅名の由来など、解説も充実していて、本の上で歴史散歩している気分になれます。廃止になった南武線との連絡線（南武連絡線）や向ヶ丘遊園の豆電車とモノレールについても書かれています。



A

B：『向ヶ丘遊園モノレール はしらのほなし』ののぼりこ／著 新風舎 2007.8

平成12年（2000）に廃止された向ヶ丘遊園のモノレール。廃線後にしばらく残されていた、レールを支える柱1本1本に焦点を当てて、まるで柱が呟いているように書かれています。柱の写真とともに、モノレールの周囲の風景の変化も描かれています。現在柱は全部撤去され、駅前に柱のモニュメントが建っています。



B

C：『わたしの向ヶ丘遊園—向ヶ丘遊園の思い出集—』

向ヶ丘遊園の緑を守り、市民いこいの場を求める会／編集

向ヶ丘遊園の緑を守り、市民いこいの場を求める会 2003.5

平成14年（2002）に廃園になった向ヶ丘遊園地の思い出を集めた文集。向ヶ丘遊園地の歴史を、文章と写真で紐解くとともに、思い出を書いた作文、詩、俳句など、向ヶ丘遊園地への思いが多くつづられています。

D：『向ヶ丘遊園小史』

遊和会／著 遊和会 1988.5

向ヶ丘遊園60周年を記念して、遊園内テナント会である遊和会が60年間のエピソードをまとめたもの。開設から60周年に至るまでの歴史はもちろんのこと、遊具の移り変わり、イベントの記録、周辺の変遷まで細かく書かれています。



おめでとうございます

県図書館協会功労者表彰・川崎からは2団体

「幸えほんの会」と「高津図書館読み聞かせグループめんどり」の2団体が神奈川県図書館協会の功労者表彰を受けました。

両団体とも30年近く図書館でのおはなし会に携わり、たくさん子どもたちにお話を届けてこられました。

「子どもたちを前にした読み聞かせや素話などで読書活動に大いに貢献した」ことが表彰の理由です。

これからもますますのご活躍を！

(表彰式は、平成24年4月20日(金)に神奈川県立青少年センターで行われました)



幸えほんの会



高津図書館読み聞かせグループめんどり

フロンターレ選手が選ぶ「わたしの1冊」

わが川崎のサッカーJ1チーム「川崎フロンターレ」と図書館との合同企画です。第9回目は、山瀬選手が選ぶ1冊を紹介します。



*** 山瀬選手より ***

中学生時代、留学していたブラジルで、人生初めて読んだ小説がこの本でした。それまでマンガしか読んだ事のなかった自分を小説好きにさせたキッカケの本。刑事と犯人の心理戦が読んでいて非常に面白かった。



『札幌着23時25分』西村京太郎／著 角川文庫【角川書店】1983年刊
《あらすじ》

十津川警部は、暴力団組長の殺人罪を立証する重要な証人を、札幌地裁に護送することになった。

タイムリミットは深夜零時！組員達は悪徳弁護士佐伯の指示に従い、証人の暗殺を狙う。

折からの航空ストのため、東京から札幌へは乗り継ぎが必要となる。

東北新幹線、在来線、青函連絡船、車、チャーター機一追われる側となった十津川と佐伯の虚々実々の攻防。

【MF13 山瀬功治選手】

切れ味鋭いドリブル突破と高い得点能力を誇るJ有数の攻撃的MF。直線的にゴールに向かう積極性と爆発力は衰え知らずで、チームに不可欠な存在となっている。本は人生の道標として、時々立ち止まって自分の考えや現在の立ち位置を確認する意味で欠かせないツールとなっている。

川崎市の歩みと未来の展望 (1)

新コーナー

政令指定都市40周年を迎えて

法政大学名誉教授
村上 直

川崎市は、今年の4月に政令指定都市となって40周年の節目を迎えることになりました。この指定都市には全国で20の大都市が指定され移行しています。はじめは、人口が100万人以上を対象としていましたが、現在では70万人以上が、特別に指定を受けられることになっています。これによって、都道府県並みの権限が与えられることになり、行政区が制定され、区制によって市政が行われていくことになりました。

川崎市の場合、昭和47年(1972)4月、行政区は川崎・幸・中原・高津・多摩の五区制が決定しました。その後、高津区と多摩区の人口が増加して昭和57年(1982)7月には、行政区の再編成によって分区し宮前区と麻生区が誕生して、現在では、市域は7区制の編成になっています。

各区は、市長から任命された区長・副区長のもとで住民の生活の利便向上がはかられています。したがって住民は市民であると共に区民でもあります。そのため、区によっては区制40周年の記念事業も行われ、それぞれの企画によって区民参加の行事などが催されているのです。

現在の全国に政令指定都市への移行のうち、最近の推計人口をみますと、横浜市(369万人)を筆頭に、大阪、名古屋、札幌、神戸、福岡、京都の各市に続いて、川崎市(143万人)は8番目に位置しています。これによっても、わが川崎市は東京大都市圏のなかで、重要な位置を占めており、とくに首都圏の業務核都市にも指定され

ています。ちなみに、神奈川県では、横浜市・川崎市と相模原市(72万人)の3市が、政令指定都市になっています。

川崎市が誕生したのは、大正13年(1924)7月です。と時の内務省告示によって、横浜、横須賀に次いで、神奈川県では第3番目の「市」となったのです。但し、このときの川崎市は、現在の川崎市の市域ではありません。川崎町・大師町・御幸村の2町1村が合併して、川崎市となったのです。人口は5万188人、戸数は5796戸です。

昭和の年代に入りますと、市勢の発展をはかるため、多摩川の流域に沿って隣接している神奈川県橋樹郡と都筑郡の町や村を合併・編入し、市域の拡大が進み、現在のような行政区画を形成することになったのです。

全国の政令指定都市

都	市	名	人	口	都	市	名	人	口	
1	横	浜	市	369万人	11	仙	台	市	105万人	
2	大	阪	市	267万人	12	北	九	州	市	97万人
3	名	古	屋	市	227万人	13	千	葉	市	96万人
4	札	幌	市	192万人	14	堺	市	84万人		
5	神	戸	市	154万人	15	新	潟	市	81万人	
6	福	岡	市	148万人	16	浜	松	市	80万人	
7	京	都	市	147万人	17	熊	本	市	74万人	
8	川	崎	市	143万人	18	相	模	原	市	72万人
9	さい	たま	市	123万人	19	静	岡	市	71万人	
10	広	島	市	118万人	20	岡	山	市	71万人	

ご好評いただいていた「かわさき歴史めぐり」がリニューアルしました。

江戸時代における江戸とかわさきの関わりを追った「徳川氏の関東入国と川崎市域」は第25回で終了し、新たに「川崎市の歩みと未来の展望」と題して日本国内で、関東地方で、神奈川県内で、首都・東京との係わりの中で、といったより広い視野に立って川崎市のこれまで、今、そしてこれからを様々な観点から描きます。

今年は川崎市の政令指定都市40周年記念にもあたることから、記念すべき第1回は「政令指定都市40周年を迎えて」と題して川崎市の成立から現在までを概観します。

執筆者紹介

村上 直 (むらかみ ただし)

法政大学名誉教授。文学博士。日本近世史を専門とされ、『天領』(新人物往来社・1965年)、『江戸幕府の代官群像』(同成社・1977年)、『江戸近郊農村と地方巧者』(大河書房・2004年)などを始め数多くの著書・編著書があります。

川崎の歴史に関しては『わが町の歴史 川崎』『川崎市史』(編さん委員長)『民間省要』(校訂)などの著作のほか各種講座・講演会の講師もなされています。昭和56年から川崎市文化財審議委員会委員長を長く務められ、平成5年には川崎市文化賞を受賞。今年5月に出版された中原区区制40周年記念写真集の編さんにも編集委員会委員長として関わられました。中原区在住。

編集・発行 川崎市立中原図書館 〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-417 TEL044-722-4932

川崎市立図書館:

川崎図書館(200-7011) 高津図書館(822-2413) 麻生図書館(951-1305) 大師分館(266-3550) 橋分館(788-1531)
幸図書館(541-3915) 宮前図書館(888-3918) 田島分館(333-9120) 柿生分館(986-6470)
中原図書館(722-4932) 多摩図書館(935-3400) 日吉分館(587-1491) 菅覧所(946-3271)